

平成27年10月15日(木) 第5校時

HRT K. H

JTE(ALT) J. K

児童数32名(男子16名 女子16名)

活動場所 ABCルーム

1 単元名 Lesson 6 What time do you get up?**2 単元について**

本学級の児童は、英語活動への関心が高く、しっかりとスキットを覚え、活用しようとする姿が見られる。しかし、自信のなさから積極的に発表することを苦手とする児童が多い。

本単元では、生活を表す表現や一日の生活についての時刻をたずねる表現に慣れ親しみ、自分の一日を伝えたり、仲間の一日を聞き取ったりする活動を通して、積極的にコミュニケーションをとろうとする態度を育成することをねらいとしている。時間や動作の言い方に慣れ親しみながら友達の生活時間を知ること、友達への関心を高めよりよい人間関係を築けるようにしたい。また、自分の1日の生活を振り返ることで、より良い生活習慣への意識を高める手立てとする。さらに時差を取り上げ、今の自分の生活と他の国の人々の生活とを比べることで、自分と世界とのつながりに気付かせていきたい。

さらに、本単元では、「人物やキャラクターの一日の生活」を考え、発表する活動を設定する。グループで「人物やキャラクターの一日」を想像し伝え合ったり、外国語でどのように表現するのか前時の活動を生かしながら発表の準備をしたりすることは「考え、話し合い、学び合う学習」になり得ると考えている。この活動を行うためには、生活を表す表現や仲間にどんな生活をしているのかをたずねる表現に慣れ親しむ必要があるため、JTE との発音練習やいくつかのゲーム、チャンツや聞き取り活動、対話活動を通して、それらの表現に充分慣れ親しませたい。

3 単元のねらい

(1) 積極的に自分の一日を紹介したり、友だちの一日を聞き取ったりしようとする

(観点1 コミュニケーションへの関心・意欲・態度)

(2) 生活を表す表現や、一日の生活についての時刻を尋ねる表現に慣れ親しむ

(観点2 外国語への慣れ親しみ)

4 研究主題とのかかわり

○研究主題

一人一人を確実に伸ばす授業の創造
～確かな学力を身につけ、自ら学ぼうとする児童の育成～

仮説1 自分の考えをしっかりと持ち、課題解決に向かって意欲的に解決する場を設定すれば、自ら学習する児童が育つであろう。

① 「人物やキャラクターの一日を想像し発表する」という課題を設定することで、それに向かって一人一人が考えを持ち、話し合うようにさせる。

② 思考ツール「ステップ・チャート」を活用し、グループでの考えを順序立てて話し合いをし、考えを深めさせる。

仮説2 自分の意見を表現し、他と比較しながら聞く話し合い活動を続けていけば、学び合う姿勢が身につくであろう。

① 自分の一日を紹介する活動を設定し、仲間の一日の生活を聞くことから共通点や相違点を見つけたり、グループで発表練習をすることで、学び合う姿勢につなげる。

② 友達の発表を意識して聞くために、「BEST」の評価を提示する。

仮説3 学習をふり返り、自己評価や相互評価をする学習を積み重ねれば、確かな学力が身につくであろう。

①自分の学習を振り返る習慣を定着させるために、振り返りカードを活用する。

本時では、①に重点を置いて研究主題の具現化を図りたい。

5 単元の計画（本時 第4時／4時間）

	活動内容	活動のねらい	使用表現・語彙	指導上の留意点・資料
第1時	<ul style="list-style-type: none"> 1～60までの言い方を練習をする 時刻を尋ねたり答えたりする練習をする 	<ul style="list-style-type: none"> 一日の生活について発表するための表現の仕方を知る 	<ul style="list-style-type: none"> What time is it? It's ○○. 	<ul style="list-style-type: none"> 時刻の尋ね方答え方を繰り返し練習し、確実に身につける
第2時	<ul style="list-style-type: none"> 生活を表す表現や一日の生活についての時刻をたずねる 	<ul style="list-style-type: none"> 動作の表現に慣れ親しむ 	<ul style="list-style-type: none"> I get up. I play baseball. I eat dinner. What time do you ○○? 	<ul style="list-style-type: none"> それぞれの動作についてその動作の表現をしっかりと知らせるようにする
第3時	<ul style="list-style-type: none"> 世界の時刻を聞き、世界地図と照らし合わせる 自分の一日を伝えたり、仲間の一日を聞き取ったりする 	<ul style="list-style-type: none"> 時差について知る 自分の一日の生活について発表できる 	<ul style="list-style-type: none"> What time is it in ○○? I get up at ○○. I go to bed at ○○. 	<ul style="list-style-type: none"> 世界では、様々な人が様々な生活をしていることを感じさせる ワークシート（ステップチャート）
第4時（本時）	<ul style="list-style-type: none"> 「人物やキャラクターの一日の生活」をグループごとに考え、発表する 	<ul style="list-style-type: none"> 「人物やキャラクターの一日の生活」について前時の表現を生かして発表できる 	<ul style="list-style-type: none"> Hi, this is my life. I get up at ○○. I go to bed at ○○. 	<ul style="list-style-type: none"> グループで考え話し合う ワークシート（ステップチャート）

6 本時のねらい

生活を表す表現や、一日の生活についての時刻を答える表現に慣れ親しむ。

（観点2 外国語への慣れ親しみ）

7 本時の展開

児童の活動 学び合い学習の手法	HRT	JTE	<ul style="list-style-type: none"> 指導上の留意点 □評価の観点と方法 ☆研究主題との関わり 	資料	時間
1 挨拶をする。			<ul style="list-style-type: none"> はっきりと大きな声で挨拶をし、活動への意欲をもたせる。 		1
2 英語の歌を歌う。 ♪We will rock you♪	<ul style="list-style-type: none"> リズムをとりながら、共に歌う。 	<ul style="list-style-type: none"> リズムをとりながら、共に歌う。 	<ul style="list-style-type: none"> 歌いながら、体を動かし、緊張がほぐれるようにする。 		3
3 本時の活動の確認をし、理解する。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 人物になりきり、一日の生活について紹介しよう。 </div>				1

4 担任とJTEのデモンストレーションを見て、内容を考える。	・動作をつけてわかりやすく話す。	・ゆっくりわかりやすく発音する。	・児童に内容を類推させる。		2
5 前時までのスキットの復習をする。	・しっかり発音できているか確認する。	・正しい発音を聞かせて練習させる。	・児童の様子をよく見て、必要ならば繰り返し練習させる。		5
6 ステップ・チャートを使い、班ごとに「なりきり生活時間」を話し合い、考える。	・各班を回り、生活時間についての助言をする。	・各班を回り、発音、言い方を助言する。	・発表シートが完成した班ごとに、発表練習をさせる。 ・発音に自信のない児童には、個別に支援する。 ☆思考ツール「ステップ・チャート」を使い、一日の生活時間を順序立てて考えさせる。(仮説1—②)	ステップ・チャート	1 5
7 班ごとに前に出て発表する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p style="text-align: center;">This is my life!!</p> <p>Hi!! I'm _____</p> <p>I get up at _____</p> <p>I _____ at _____</p> <p>I _____ at _____</p> <p>I go to bed at _____</p> </div>	・積極的に賞賛し、意欲を高める。	・発音に困った児童へアドバイスする。	・賞賛や励ましの言葉をかけ、児童に達成感や活動意欲をもたせる。 評 生活を表す表現や、一日の生活についての時刻を答える表現に慣れ親しんでいる。【外国語への慣れ親しみ】		1 5
8 活動を振り返る。	・英語を使ったコミュニケーションができたかななどを振り返り、シートに記入させる。	・気付いた点を伝える。	・本時のめあてを意識させ、英語で紹介できたかを振り返らせる。	振り返りシート	2
9 挨拶をする。			・元気に挨拶をすることで、次時への期待感をもたせるようにする。		1

8 板書計画

<p>What time do you get up?</p> <p>めあて 人物になりきり、一日の生活を考え、紹介しよう。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center; margin: 10px 0;"> <h3 style="font-size: 1.2em;">生活時間例</h3> </div>	<p style="text-align: center;">ステップ・チャート</p> <div style="text-align: center;"> <input style="width: 100%;" type="text"/>時 ↓ <input style="width: 100%;" type="text"/>時 ↓ <input style="width: 100%;" type="text"/>時 ↓ <input style="width: 100%;" type="text"/>時 </div>	<p style="text-align: center;">This is my life!!</p> <p>Hi!! I'm _____</p> <p>I get up at _____</p> <p>I _____ at _____</p> <p>I _____ at _____</p> <p>I go to bed at _____</p>	<p style="text-align: center;">英語の歌の歌詞</p>
--	--	---	--